



都内医療機関向け 年度末研修のお知らせ

2026年

3月8日(日)9:50~12:45

ハイブリッド開催 (ZOOMを使用します)

会場：公益財団法人神経研究所ビル 4F 晴和ホール

東京都発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業

内容



1.開会挨拶

東京都福祉局障害者施策推進部精神保健医療課
課長代理 永谷 昌也 様 (事前撮影動画)



2.事業活動報告 (9:55~10:30)

「令和7年度事業活動報告」

報告者：公益財団法人神経研究所 桑野 大輔
(発達障害医療コーディネーター)



3.講演 (10:45~12:45)

「自然に“行動したくなる仕組み
“ナッジ”の力」

青森大学 客員教授 竹林 正樹 先生

<講師紹介>

青森県出身。立教大学経済学部、米国University of Phoenix大学大学院 (Master of Business Administration)、青森県立保健大学大学院修了 (博士 (健康科学))。行動経済学を用いて「頭ではわかっているも、健康行動できない人を動かすには？」をテーマにした研究を行う。「ホンマでっか!?TV (フジテレビ)」を始め、各種メディアでナッジの魅力を発信。ナッジで受診促進を紹介したTED (テッド) トークはYouTubeで90万回以上再生。代表作は「心のゾウを動かす方法」(扶桑社)、「介護のことになると親子はなぜすれ違うのか」(GAKKEN)。

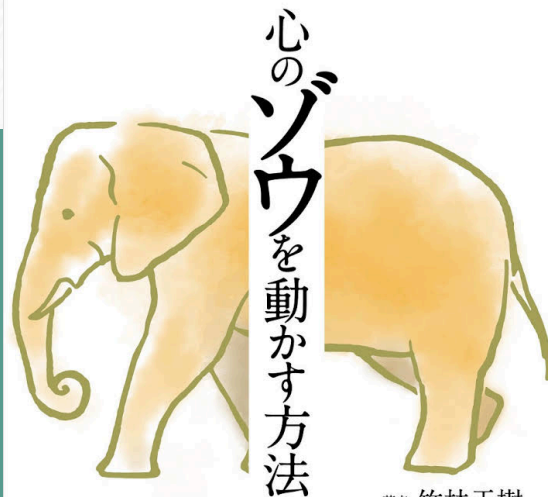


📍 ナッジって何ですか？

ナッジは、選択を禁止することも経済的インセンティブを大きく変えることもせず、望ましい行動へと「予測可能な形」で変える設計です(※)。

引用：竹林正樹公式サイトより

東京都福祉局精神保健医療課/公益財団法人神経研究所



著者 竹林正樹
Takebayashi Masaki

人の直感はパワフルで本能的で、まるでゾウのよう。

TEDxトークで人気の話が書籍化されました

あなたの悩み、“ナッジ”で解決!
行動経済学

扶桑社

お申込み方法

下記QRコードまたはURLよりお申込みください



<https://sgfm.jp/f/r7tokyo>

申込み期限

3月6日(金)17:00まで

お申込み完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に研修当日のミーティングIDとパスワードをお送りします。資料は、講師の意向により、終了後の配布となります。ダウンロードURLは、参加された方を対象にのみお知らせいたします。

お問合せ先

公益財団法人神経研究所附属晴和病院

発達障害医療コーディネーター 桑野

〒162-0851 東京都新宿区弁天町9-1

電話 03-5579-8691

メール tokyo-mw-network@ionp.or.jp

発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業とは

都内における発達障害の診断待機を解消するため、専門性の高い医療機関を中心としたネットワークを構築し、都内の医療機関への研修等を実施することで発達障害を早期に診断可能な体制確保を図ることを目的とした事業です。

令和2年度から東京都が公益財団法人神経研究所に委託して実施しています。